

高知工科大学環境理工学群

教授 理学博士



## 中根 英昭 氏

経歴:

1981年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、国立環境研究所に入所。レーザーレーダー（ライダー）を用いた粒子状物質の観測を実施。1988年よりレーザーレーダーによる成層圏オゾン鉛直分布の観測を開始、2008年まで継続すると共に、成層圏オゾンの国際的ネットワーク観測等に参加した。国際オゾン委員会委員、オゾン層破壊科学アセスメント報告書共著者、査読者としてオゾン層保護のための国際活動に貢献した。2002年に温室効果ガスインベントリオフィスの発足とともにマネジャーに就任、IPCC温室効果ガスインベントリ2006年ガイドライン報告書リードオーサーを務めた。2012年より高知工科大学環境理工学群教授。中央環境審議会臨時委員（地球環境部会）、温室効果ガス排出量算定方法検討会委員（HFC等4ガス分科会座長）、成層圏保護に関する検討会科学分科会委員。